2015年12月24日

各　位

会 社 名　株式会社トランスジェニック
代表者名　代表取締役社長　福 永　健 司
（コード番号2342 東証マザーズ）
問合せ先　取　締　役 船 橋　泰
（電話番号　03-6693-9571）

医化学創薬株式会社の第三者割当増資の引受に関するお知らせ

当社は、2015年12月24日開催の取締役会において、医化学創薬株式会社（代表取締役社長：伊藤勝彦、札幌市、以下、「医化学創薬」）が実施する第三者割当増資（以下、「本第三者割当」）の一部を引受ける（以下、「本株式取得」）ことを決議いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1．本株式取得の目的

当社は1998年に設立し、熊本大学発バイオベンチャーとして、遺伝子破壊マウス作製受託をはじめとする基礎研究支援から非臨床試験、臨床試験、更には診断までカバーした一貫した有用なトータル創薬支援ツールをグループで提供することで医薬品開発をサポートし、社会に貢献することを目指しております。

一方、医化学創薬は、糖鎖関連技術について世界的な第一人者である北海道大学の西村紳一郎教授らが開発した糖鎖解析・合成技術をキーテクノロジーとして2010年に設立されており、北海道大学との共同研究を通じて、治療標的として有望な創薬シーズの開発を行っています。

両社は、2015年5月27日に共同研究開発契約（※1）、さらに2015年6月30日に戦略的資本業務提携（※2）を締結するなど、継続的に関係強化を図る一方、事業面においても、営業活動の協力支援に加え、2015年12月2日に公表しましたように両社と熊本大学を交えての「新規前立腺がんマーカー抗PSA糖鎖抗体開発に関する共同研究」（※3）を開始するなど、協働関係の構築を通じたシナジーを実現してまいりました。

このたび、追加出資を行うことを通じて、当社グループとして医化学創薬との関係をより発展的に強化し、更なるグループシナジーを高めることが当社事業の持続的な成長に資すると判断し、本株式取得を実施することといたしました。

なお、医化学創薬は、国立研究開発法人科学技術振興機構の「出資型新事業創出支援プログラム」（略称：SUCCESS（Support Program of Capital Contribution to Early-Stage CompanieS））を用いた、同機構に対する第三者割当増資の決議も行っております。

※1　『抗体医薬シーズに関する共同研究開発契約締結のお知らせ』
（http://www.transgenic.co.jp/pressrelease/pdf/20150527-3.pdf）
※2　『医化学創薬株式会社との戦略的資本業務提携に関するお知らせ』
（http://www.transgenic.co.jp/pressrelease/pdf/20150630.pdf）
※3　『新規前立腺がんマーカー抗PSA糖鎖抗体開発に関する共同研究契約締結のお知らせ』
（http://www.transgenic.co.jp/pressrelease/pdf/20151209.pdf）

2. 医化学創薬の概要

(1)	名　　称	医化学創薬株式会社
(2)	所　在　地	札幌市北区北21条西12丁目
(3)	代表者の役職・氏名	代表取締役社長　伊藤勝彦
(4)	事　業　内　容	・受託による糖鎖解析、糖鎖合成 ・糖鎖関連試薬の販売 ・疾患関連エピトープ認識抗体医薬品（診断薬、治療薬）の創製
(5)	資　本　金	134,950千円
(6)	設　立　年　月　日	2010年11月

3. 取得株式数、取得価額及び取得後の所有株式数の状況

(1)	取得前の保有株式数	1,250株（持株割合30.3%）
(2)	取　得　株　式　数	1,250株
(3)	取　得　価　額	50,000千円
(4)	取得後の保有株式数	2,500株（持株割合31.7%）

※取得後の医化学創薬大株主の状況

取得前（2015年9月30日現在）		取得後（2016年1月15日時点）	
株式会社トランスジェニック	30.3%	株式会社トランスジェニック	31.7%
ほっかいどう地方創生投資事業有限責任組合	30.3%	国立研究開発法人科学技術振興機構	31.7%
経営陣及びその他事業会社等	39.4%	ほっかいどう地方創生投資事業有限責任組合	15.9%
		経営陣及びその他事業会社	20.7%

4. 日程

2015年12月24日　　当社取締役会決議日
2016年 1月15日　　本株式取得予定日

5. 今後の見通し

現時点において当社の2016年3月期の連結業績に与える影響は未定ですが、今後、本提携の具体的な進捗に応じて業績に影響を与えることが判明した場合には、速やかに公表いたします。

以上

2015 年 12 月 24 日
株式会社トランスジェニック

当社資本業務提携先の医化学創薬(株)における
科学技術振興機構に対する第三者割当増資について

当社の戦略的資本業務提携先である医化学創薬株式会社（代表取締役：伊藤勝彦、札幌市　以下、医化学創薬）において、このたび国立研究開発法人科学技術振興機構（以下、JST)に対して第三者割当増資を実施することとなりましたので、お知らせいたします。

この第三者割当増資は、科学技術振興機構の出資型新事業創出支援プログラム（略称：SUCCESS（SUpport Program of Capital Contribution to Early-Stage CompanieS)）に基づくものです。このプログラムは、科学技術振興機構の研究開発成果を実用化しようとするイノベーティブなベンチャー企業に対して、成長資金の供給や関係機関のネットワークを活用したサポートを提供することにより、実用化を通じた先端技術の社会への還元を推進するものです。

医化学創薬は、従来から JST の支援を受け、2009 年度「全自動糖鎖プロファイル診断システムの開発」等の研究開発を進めてまいりました。
医化学創薬は、保有する基盤技術である
①糖鎖解析技術：グライコブロッティング法
②糖鎖合成手法：マイクロ波と酵素合成法を活用
③抗体の評価法：糖ペプチドライブラリー/マイクロアレイの作製技術
④特異抗体作製：非特異吸着抑制（PC/SAMs）微粒子作製技術
に基づいた総合的な糖鎖解析手法である「GT-Platform™」を提供しております。
今回の増資によって、この GT-Platform™を用いて解析したデータを基にリード抗体を作製するシステムで抗体医薬の創製プラットホームである「QuaDRAD™」の創薬現場への提供を加速させます。

当社は、この度の医化学創薬の増資により両社共同で進めております抗体医薬シーズの開発が加速するものと期待しております。

【国立研究開発法人科学技術振興機構】
わが国における科学技術情報に関する中枢的機関として内外の科学技術情報を迅速かつ適確に提供する事を目的に 1957 年 8 月に設立された日本科学技術情報センター（JICST）と、海外技術への依存から脱却し、わが国の大学や国立研究所等の優れた研究成果を発掘し、その企業化を図ることを目的に 1961 年 7 月に設立された新技術開発事業団（JRDC）が 1996 年 10 月に統合し、科学技術振興事業団（JST）が設立されました。2003 年 10 月には、独立行政法人科学技術振興機構（JST）となり、2015 年 4 月には、現在の国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）となりました。
イノベーションのナビゲーターとして、 わが国の科学技術の発展を牽引し、広く世界を先導する組織です。

【医化学創薬㈱ 企業概要】
本社所在地　札幌市北区北 21 条西 12 丁目 コラボほっかいどう
代　表　者　代表取締役　伊藤　勝彦
設立年月日　2010 年 11 月

事 業 内 容　受託による糖鎖解析・糖鎖合成、試薬販売、抗体医薬製造
Ｕ　Ｒ　Ｌ　http://www.soyaku.co.jp/